

南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035

練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <https://www.nerima->

[tky.ed.jp/minamigaoka-j/](https://www.nerima-tky.ed.jp/minamigaoka-j/)

令和6年度 第6号 令和6年10月22日発行



「お天道様は見ている」は古臭い？

生活指導主任 小島 佳之

秋も深まり、朝晩の冷え込みを感じる季節となりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今回は、日本の古い価値観や言葉について考えてみたいと思います。

まずは、「お天道様は見ている」という言葉です。これは誰も見ていないと思っても、天の神様である「お天道様」はいつも私たちの行動を見ているという意味です。昔の日本では、この言葉はよく使われ、他人の目がなくても正しく行動するよう努めていました。科学技術が進歩し、SNSなどで世界中と簡単につながれるようになった現代社会において、「お天道様」という言葉は、もはや現実感が薄れてきており、古臭いと感じる人が増えてきているのかもしれませんが。私たちが信じていた価値観が、時代の時とともに変わっていくのは自然なことです。しかし、その根底にあるメッセージは、今もなお重要ではないでしょうか。それは、他人が見ていようと見てまいと、自分の行動に責任をもつということです。特に、SNSやネット上でのやりとりが増え、目に見えない「匿名性」によって行動しやすい現代社会では、この考え方はむしろ評価されるべきだと感じます。ネット上でのコメントや発言も、相手に見えないからといって無責任にしてしまうことがあります。けれど、実際にはそれも「お天道様」にあたる社会全体や、未来の自分自身に見られている行動の一つです。だからこそ、今もこの言葉を大切にする価値はあるのではないかと私は考えます。

一方で、「足るを知る」という言葉も、考えてもらいたい言葉です。これは「自分の持っているものに満足し、無理に欲張らない心を持つこと」を意味します。現代は物が溢れ、常に「もっと、もっと」と新しいものを追い求めがちな時代です。しかし、欲望には終わりがなく、次々に新しい目標を立てて追いかけていると、心が休まることはありません。むしろ、自分が今持っているものに感謝し、満足することで、心の豊かさを感じることができるのです。

「お天道様は見ている」と「足るを知る」。これらの言葉は、どちらも自分の内面を見つめ、心の在り方を整えるための大切な指針です。私たちの生活や学びの中でも、他人の評価や外部からの刺激ばかりに囚われることなく、自分自身がどうあるべきかを問い続けることが必要です。そして、今ある環境や人々、そして自分自身に感謝し、満ち足りた心で日々を過ごすことが、真の幸福につながるのではないかと考えます。部活動帰りに誰に言われるでもなく廊下の窓を閉める生徒や、合唱コンクールで賞をとったクラスを羨むのではなく、自クラスの仲間と取り組んだ時間を愛おしく感じる作文を見ると、真っすぐに育つ中学生に自身の背筋も伸びる思いです。

第46回文化発表会

今年度スローガン

一唱懸命

～届け 心躍らす音～



10月12日(土)本校二大行事のひとつである文化発表会がおこなわれました。

全校生徒で作り上げた一日を応援し、見守ってくださった皆様に感謝申し上げます。南が丘通信10月号は「文化発表会特集」でお送りいたします。

【文化発表会実行委員会】

本校の行事は、生徒実行委員の努力によって支えられています。準備段階では音楽の練習やリハーサルの進行でクラスや学年をまとめ、当日には司会や進行、舞台、客席入れ替えなど行事自体を作り上げる大きな役割を担いました。

(敬称略:◎委員長・○副委員長)

- 1年A組
- 1年B組
- 1年C組
- 2年A組
- 2年B組
- 2年C組
- 3年A組
- 3年B組
- 3年C組
- E組



◆実行委員長より◆

今回の文化発表会は、一唱懸命 ～届け心躍らす音～というスローガンのもと、練習を重ね、準備を進めてきました。本番では、どのクラスも人の心を動かす発表をしてくれたと思います。私も初めて実行委員の委員長になり、会場設営や企画を実行する楽しさなど様々なことを学ばせていただきました。

実行委員、先生、指揮者をはじめとした音楽スタッフ、E組の皆さん、吹奏楽部や海外派遣の生徒の皆さん、保護者の方々、そして、この素晴らしい行事を共に作り上げてくれたすべての人に、感謝したいと思います。ありがとうございました。

♪E組発表

ハンドベル「ほたるこい」

合奏「風になりたい」

演奏が始まった瞬間、会場全体がハンドベルの涼やかな響きに引き込まれました。楽器紹介の後、各パートが一丸となった「風になりたい」では手拍子も沸き起こり、演奏後には会場の大きな拍手を受けました。来月8日(金)に練馬文化センターで行われる八校合同文化発表会では、合唱「変わらないもの」を加えてプログラムを再演します。更に良い演奏に期待!





♪合唱コンクール1年生の部

学年合唱（課題曲）「この星に生まれて」

1年C組 自由曲 「HEIWAの鐘」

1年B組 自由曲 「大切なもの」

1年A組 自由曲 「My Own Road」

課題曲学年合唱ののち、1年生各クラスは大きく素直な声でのびのびと歌いました。最初は声を出すことに戸惑いもありましたが、生徒指揮者や伴奏者の活躍もあり、毎日の練習で培ったクラスの一体感を歌声に変え、体育館を響かせました。



1年C組



1年B組



1年A組



♪合唱コンクール2年生の部

学年合唱（課題曲）「Friend」

2年C組 自由曲 「ふるさと」

2年B組 自由曲 「旅立ちの時」

2年A組 自由曲 「あなたへ」

2年生の全員合唱が響いたとき、合唱コンのレベルがワンランク上がりました。1年生も頑張りましたが、先輩の発声やハーモニーに驚いた後輩も多かったです。明らかに1年前とは違うハーモニーで、精一杯の表現ができたステージでした。



2年C組



2年B組



2年A組



♪合唱コンクール3年生の部

学年合唱（課題曲）「手紙」

3年B組 自由曲 「証」

3年C組 自由曲 「友」

3年A組 自由曲 「道」

バランスが良い2年生の後で相当なプレッシャーがかった3年生。しかし、曲にかける情熱がそれを上回ったステージでした。少ない女声を生かしながら歌う男声。歌詞を表現する様々な工夫。それを支える指揮者と伴奏者のテクニック。最上級生として意地を見せた合唱に会場全体が感動しました。



3年B組



3年C組

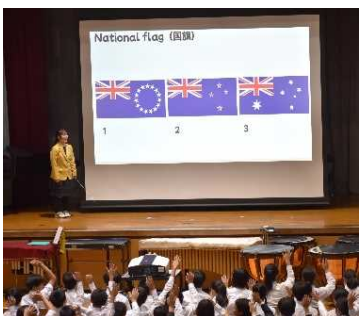


3年A組

♪海外派遣報告

3年A組 2年A組

昨年度より練馬区中学校海外派遣事業が再開し、今年度は文化発表会でオーストラリア研修の報告がありました。スライドを使ってクイズなどを織り交ぜ、英語と日本語2カ国語を駆使しての発表はとても分かりやすく楽しいものでした。



♪吹奏楽部発表

「おジャ魔女カーニバル!!」「A Whole New World」

「il vento d' oro」「僕のこと」

今年度文化発表会ラストの盛り上げ役は吹奏楽部。教職員によるアンサンブルも飛び出し、エンディングには昼休み有志合唱団とのコラボで会場を沸かしました。



♪表彰



合唱コンクール最優秀賞

1年B組 2年C組 3年C組

表現賞

E組

最優秀指揮者賞

1年A組

1年C組

2年A組

3年C組

最優秀伴奏者賞

1年B組

2年A組

2年B組

3年A組

3年B組

3年C組



●文化発表会の動画配信について●

ご多用の中、文化発表会へご来場いただいた方々に厚く御礼申し上げます。会場でご覧いただくことができなかった方々のために、生徒タブレットPCで当日の動画を配信いたします。期間は10月26日(土)～11月11日(月)です。ご覧になる際は、当日の会場において保護者の方ご自身で撮影された動画や画像と同様、ご家庭の中でお楽しみいただき、決してインターネット上に掲載することのないようお願いいたします。生徒の肖像権や演奏曲の著作権を守る観点から、ぜひご協力をお願いいたします。

●学校樹木の伐採について●

毎年春に素敵な花で私たちを楽しませてくれた本校の桜ですが、専門業者に依頼し精密判断を行ったところ、倒木のおそれがある桜の木が6本あることが判明しました。つきましては、生徒の安全を確保するために、正門付近の4本と校庭の2本を伐採します。伐採後には新しい桜の補植を検討しています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○連絡先 施工者：株式会社 池田園緑化 03-3922-5677

練馬区教育委員会学校施設設課管理係 03-5984-5723

練馬区立南が丘中学校 03-3904-5782